



食品廃棄物回収から食品生産へ —脱炭素社会を目指した食品リサイクルループ—

脱炭素社会を目指し、回収した食品廃棄物を堆肥・飼料にリサイクルして、自ら農業・養豚業に参入し、SDGs活動として「食品リサイクルループ」の実現に取り組んでいます。道の駅「かぞわたらせ」ではリサイクル飼料・肥料を利用して育て上げた野菜の販売、豚肉の食堂での提供などを通じて、消費者に食品リサイクルループの取組を情報発信しています。



所在地 埼玉県加須市栄368番地1
 電話 0280-23-2828
<https://www.um-welt.co.jp>
 代表者 代表取締役 小柳 明雄

創業 1992年
 資本金 1,000万円
 従業員 250人

担当者より

当社に食品廃棄物を提供いただくことで、食品リサイクルループが実現します。食品リサイクル法の対応やコスト削減に限界を感じている食品工場の皆様、是非弊社にお任せください！！



求む！
連携先

食品廃棄物のリサイクルに向けての連携先、当社で生産した農産物の活用方法

できます！

汚れた廃プラスチック類の回収もできます。回収した廃プラは燃料やマテリアルに再生します。

■ 食品工場廃棄物の回収（ご近所ルート便）

食品残さ、野菜くず、脱水汚泥を定期的に回収し、堆肥や飼料にリサイクルします。また、汚れたプラスチック類も回収し、フラフ燃料等にリサイクルして再利用を行っています。関東一円に70台以上の計量器付車両のルート便が走っていますので、効率よく正確な重量が把握できます。



■ ごみ袋リサイクルループ（グリーンエコ袋）

飲料容器の廃棄に使用のごみ袋などを再びポリ袋にリサイクルします。ごみ袋だけでなく、製品の梱包に使用されるポリ袋なども、回収・買取、ポリ袋へのリサイクルを行うことで、業界初のごみ袋toごみ袋リサイクルが実現します。通常の使用・焼却に比べ、CO₂を最大84%削減できます。



環境配慮型の紙製品を展開

—紙の可能性を追求しプラスチック使用量を削減—

創業90年の紙問屋。「お客様の支えとなる、縁の下の力持ち」の姿勢で顧客の相談や課題に対応してきた結果、各種特殊紙、特許商品、プライベートブランドなど幅広い商品の取扱いにつながっています。伝統で培ったものを大切にしながら、常に新たなものへ挑戦し、水に強く、破れにくい紙「アドベック」や、遠くからでも見える透かしを入れた和紙など、紙の利用価値を高めることで、脱プラスチックに貢献するなど、SDGsの取組を進めています。

所在地 埼玉県比企郡小川町大塚108
 電話/FAX 0493-72-0030 / 0493-74-1086
 代表者 代表取締役社長 大塚 暁
<https://ootsuka-kami.co.jp/>

創業1932年（昭和7年）
 資本金 1,000万円
 従業員 18人



担当者より

紙はもともとリサイクル可能な地球に優しい商品です。昨今では、脱プラの影響もあり、様々な代替品としてさらに注目を集めています。



求む！
園芸店、
農業資材
関係者

土に還る紙製苗ポットを試作しました。「試してみたい！」という園芸店、農業資材関係の方、お気軽にご相談ください。

■紙問屋として出来る環境貢献

当社は一般包装用紙や農業資材・包装用紙等の産業用紙をメインに取り扱っていますが、お客様の要望に応じた種類、大きさを取り揃えることで紙資源の無駄を省けます。また切り落とした紙片でメモ帳を作るワークショップ等で、地域の子供達へ環境教育を実施。紙問屋として出来る環境貢献に取り組んでいます。



■紙を活用した製品の企画

そのまま土に植えられる苗ポットとして、プラ製苗ポットに代わる製品として紙製苗ポットを企画しています。紙マルチ（土に還りやすい素材）や和紙を使ったタイプ等を検証中。脱プラスチックなど、紙の製品活用について、是非ご相談ください！



お茶殻を再利用した紙で商品開発

—廃棄物の有効利用でサーキュラーエコノミーを—

(株)伊藤園の「茶殻リサイクルシステム」により開発された「茶殻紙」を使用し、紙製クリアファイルやマスクケースを製作し、販売しています。自社の強みである、企画力と販売力をベースに、紙と技術で顧客へ提案・対応し脱プラにつなげています。更にお茶殻入り「パーテーション」も開発し、災害対策や感染防止に役立つ製品も開発しています。

所在地 埼玉県入間市南峯1095-15
 電話/FAX 04-2936-3031/04-2936-3036
 代表者 代表取締役社長 金坂 良一
<https://www.kanepa.co.jp/>

創業 1976年
 資本金 5,000万円
 従業員 1,300人



担当者より

クリアファイルは多くの企業や自治体で使う場面が多いと思います。社名を入れることも可能ですので、企業の備品や販売促進グッズにご活用ください。



求む！
自治体や
企業の
販売促進
関係者様

販売促進品として、またプラ製品の代替として使うことも可能です。本製品活用でサーキュラーエコノミーの一端に参画できますので、お問い合わせをお待ちしています。

■ お茶殻入り紙製クリアファイル

(株)伊藤園の「茶殻紙」を使用して紙製クリアファイルを製作し、自治体や地域のイベントなどで採用されています。プラスチック製クリアファイルをお茶殻紙製に変更することで、サーキュラーエコノミとして脱プラとCO₂削減に貢献します。



■ 梱包材削減のご提案

当社の基本事業は包装に係る課題を、卓越した包装設計技術によるパッケージ（梱包材）で解決することにあります。部材点数や脱プラ化のご提案によりプラスチック梱包材の使用を大幅削減し、コストダウンと環境保護に貢献します。





古着の染め直し「SOMA Re:」—アパレル産業の環境問題へ対応するサステナブルファッション—

「SOMA Re: (ソマリ)」は2020年6月に「染め直し」サービスからスタートしました。退色や黄ばみなどの理由から捨てられてしまうはずだった衣類を染め直して生まれ変わらせ、モノを大切に暮らすの輪を広げます。2022年7月からは、「巡る」で古着事業者からの衣料を回収し、販売する事業をスタートするなど、大量生産・大量廃棄の問題解決に取り組んでいます。

所在地 埼玉県大里郡寄居町寄居1224-5
電話 048-581-5298
<http://www.kinunoie.co.jp/>
代表者 代表取締役 吉田昌弘

創業 1937年
資本金 1,000万円
従業員 5人



担当者（井澤）より

長年染色に関わってきた知識や技術を活かし、サステナブルファッションをテーマに始めた染め直しサービス「SOMA Re:」をご利用ください。



求む！
連携先

サステナブルファッションに関連する連携先、アパレルの改修や販売などの連携

捨てるなら、
染めよう

シミや汚れがついてしまいう着なくなった洋服などをお持ちの方、お待ちしております。

■ 古着の染め直しサービス「SOMA Re:」

既存事業の染め工程の遊休時間を活用し、退色や黄ばみの出た衣類を染め直し、再生する事業です。サービス立ち上げ当初より多くのお洋服等を染めさせていただき、そのままでは捨てるしかなかった物を蘇らせ、衣料廃棄の削減に繋がっています。



■ 古着の収集、販売サービス「巡る」

古着事業者からの衣料を回収し、販売する事業です。流通事業者様、アパレルメーカー様などからもアパレル関連の回収があれば協力して再利用へつなぐことで、CO₂削減につながります。



廃棄卵殻を活用した商品開発

ー化石燃料の使用量削減と廃棄物の有効利用をー

廃棄卵殻を活用したFSC認証紙『カミシェル』、バイオマスプラスチック『シェルミン、プラシェル』を開発しました。廃棄されるだけだった卵の殻を活用し、PP（ポリプロピレン）やメラミン樹脂と配合することで、化石燃料の使用量削減と廃棄物の有効利用を推進します。2019年6月からカネパッケージ、ベジテックの3社で「エコ玉プロジェクト」を開始し、啓発活動も含めて活動中です。

所在地 埼玉県桶川市若宮2丁目3-5 ヤマトビル1F
電話/FAX 048-789-0303/048-789-0202
<https://www.samurai.vip/>
代表者 代表取締役 櫻井裕也

創業 2017年
資本金 1,000万円
従業員 5人



担当者より

カミシェルやプラシェルは自治体などの名刺などでもPRに使ってほしい。またシェルミンは代替樹脂としての皿など材料に代替を希望。



求む！
自治体や流通関連事業者様

名刺などでもPRに使うことができます。活用で地球温暖化防止に役立ちます。シェルミンはホテルや給食などで利用するお皿の代替樹脂としていかがでしょうか？

■ SHELLMINE (シェルミン)

『シェルミン』、『プラシェル』は廃棄卵殻を活用したバイオマスプラスチックです。シェルミンを用いた食器は、メラミン食器と異なり、電子レンジで使用できるのが特徴です。プラスチックの使用量削減、CO₂排出量削減に大きく貢献できます。エコ素材として2022年度グッドデザイン賞を受賞。



■ CaMISHELL (カミシェル)

『カミシェル』は、卵の殻（卵殻）を微粒子パウダー化し、種々な紙繊維と混合した次世代の紙素材です。紙を作るのに必要な材料の10%～50%を卵殻で代用することで、バージンパルプの伐採抑制とパルプ消費の大幅削減を実現し、土壌・森林保護に大きく貢献できます。





高機能遮熱塗料「グレタコート」で遮熱

— 節電を通じてCO₂削減を —

「グレタコート」は、中空ビーズを使用することにより、熱が内部に伝わるのを防ぎ、夏季は太陽光からの熱伝導を、冬季は外気の冷たさが伝わるのを抑制します。屋根・壁面に塗装することで、内部の温度変化を抑え冷暖房効率をアップさせます。エアコン室外機に塗装すると、夏場は温度上昇を抑えることで、冬場は凍結防止効果による稼働効率改善によって、使用電力を削減できます。「グレタコート」を用いた製品「室外機用省エネカバー」も開発しました。

所在地 埼玉県草加市瀬崎4-10-1
 電話/FAX 048-928-1656 / 048-947-3328
 代表者 代表社員 成田 明
 メール gs-narita@athena.ocn.ne.jp

設立 2003年
 資本金 500万円
 社員 2人



代表者より

会社役員を辞し、関心のあった環境問題へ取り組む会社を起業。温暖化に伴って必需品となったエアコンによる節電はCO₂削減効果大。「ちりも積もれば山となる」



求む！
 塗装工事会社・代理店様

グレタコートを使った施工やその他サービスを使っただくことで、皆さまのSDGsへ貢献することができます。お問い合わせをお待ちしています。

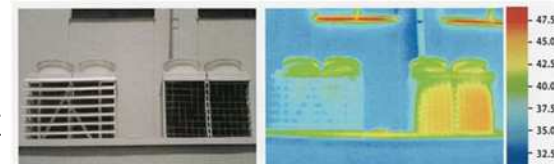
■ 高機能遮熱塗料「グレタコート」の効果

- ① 太陽熱反射による遮熱
- ② 中空ビーズによる断熱
- ③ 高い密着性による保護
- ④ 高伸縮性によるクラック抑制で防音・防水
- ⑤ 長持ちする塗膜性能で環境負荷低減



■ 室外機用省エネカバー

「グレタコート」を活用して室外機に設置するルーバーも開発しました。ルーバーによって熱交換器を遮熱し、内部温度を大きく下げること、稼働に適した状態に保ち、消費電力を抑えてCO₂排出を削減します。



不用樹木を活用した商品開発 —温暖化を防止する地域循環型ビジネス—

伐採された剪定木、径木、根株、竹類、雑草など樹木の受け入れを行い、リサイクル資源として再生し、製品化しています。樹木をゴミとして処分・焼却するのではなく、リサイクル製品として販売することによって、資源を無駄にすることのない循環型社会づくりに寄与するとともに、CO₂を削減し、地球温暖化を防止する地域循環型ビジネスを展開するSDGsの取組をしています。



所在地 埼玉県川口市石神1529-1
電話 048-229-4229
<https://www.nissei-green.co.jp>
代表者 代表取締役 大谷 和也

創業 2007年
資本金 700万円
従業員 9人

担当者より

当社の商品を活用いただくことで、CO₂削減に繋がります。自治体様でも導入いただいています。道路工事や公園整備の資材として是非活用ください！



求む！
連携先

循環型社会形成に向けての
連携先、伐採樹木の活用方法

できます！

伐採された剪定木、径木、根株、竹類、雑草などの樹木の
処分にお困りの方

■ BIOブロック・GUDブロック

間伐材のウッドチップを50%を含むブロックです。保水性に優れ、1枚でペットボトル1.8L分の保水が可能。木の腐食や焼却によるCO₂放出を防ぎ、1000L換算のCO₂を1枚のブロック内に固定化しています。高い雑菌増殖防止、カビ防止効果も有しています。



■ バーク堆肥

伐採された樹木を原料に3年間発酵させた、安心・安全な堆肥です。放置し、枯木にするのではなく、樹木をリサイクルし、土壌肥料として活用することで、CO₂削減につながります。





自然の恵みを取り入れた家づくり

—埼玉県産木材の利用でCO₂削減を—

埼玉県産木材や古材を使った家づくりでCO₂排出の抑制、カーボンニュートラルの取組を推進しています。「木遣い」「木配り」「木心」を大切に、木材建築物を残したい、それをつくる大工を育てたいという熱い想いで、人々の健康にも地球環境にもやさしい家づくりでSDGsの取組を行っています。積極的に地域のイベントにも参加し、子供たちに木の魅力を伝えています。

所在地 埼玉県朝霞市膝折町3-4-40
電話/FAX 048-461-0144 / 048-461-7281
代表者 代表取締役社長 関根 大介
<http://www.hatukari.co.jp/>

創業 1949年
資本金 1,000万円
従業員 9人



担当者より

県産木材や古材を使った家づくりでCO₂排出を抑制できます。そこで住む人々の健康にも地球環境にも優しい家づくりでSDGsに貢献していきましょう。



求む！
行政や店舗
営業を行う
事業者様

人々が集まる場所に県産木材や古材を使った建築物を造ることでCO₂の削減、カーボンニュートラルの一端に参画できますので、お問い合わせをお待ちしています

■ 埼玉県産木材を使った家づくり

石油由来の建材と比較し、木材は植林から建材になるまでの過程でCO₂の排出が少なく、カーボンニュートラルの実現に貢献できます。同じ木材でも、海外産ではなく県産を使うことで、産地からの輸送によって発生するCO₂を大きく削減することができます。



■ 古材を使った家づくり

古くなった家は壊すと廃棄物になり、燃やすとCO₂が排出されます。木材は再利用が可能で、大切に使用した古材の梁丸太などは趣のある家づくりを実現します。古材を使った家づくりは木材をリユースすることでCO₂排出の抑制に有効です。





地中熱を活用した農産物工場 —地中熱の有効利用でカーボンニュートラルを—

「地中熱を活用したヒートポンプシステム」を農産物工場に導入することで年間を通して安定した温度の地中熱を活用することができ、省エネ、カーボンニュートラルの実現を提供しています。自社でも地中熱を空調に利用した農産物工場を新設し、国産「きくらげ」の生産を始め、地元飲食店と共同で、市場では希少性のある「生きくらげ」を使ったメニュー開発を行い、地元の名産品に向け育てています。

所在地 埼玉県加須市加納873-2
 電話/FAX 048-727-0111 / 048-728-2890
 代表者 代表取締役社長 遠藤 康之
<https://www.pecbor.cc/>

設立 2006年
 資本金 1,000万円
 従業員 15人



担当者より

カーボンニュートラルに貢献する地中熱を活用して、おいしく地球環境に優しい「きくらげ」をつくり、地元桶川市の名産品に育てていきたいと考えています。



求む！
 飲食店や
 食品加工
 企業様

市場では海外産の乾燥きくらげが主流ですが、地中熱により生産した地元産の生きくらげを使っていただくことで、SDGsの取組に参画できますので、お問い合わせをお待ちしています

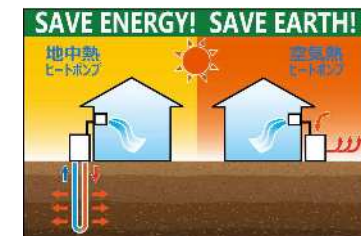
■ 国産生きくらげ

地中熱を利用し自社工場で生産した「きくらげ」を生のまま新鮮な状態で販売しています。環境にやさしいエネルギーで生産した、地元産の安心安全でおいしいきくらげをお届けします。飲食店や食品加工業の事業者様と連携してメニュー開発をしています。



■ 地中熱を利用した農産物工場

当社の地中熱を活用したヒートポンプシステムで工場内の空調を省エネに保ち、低コストでカーボンニュートラルに貢献できる農産物の生産工場設備を提供します。



森に還るクラフトジン

—川越の自然への感謝の気持ちを込めて—

2012年に川越の里山を保全する緑化プロジェクトや隣接する川の清掃を始めました。整備した森では木育活動、畑では収穫体験を他社との連携も行いながら、次世代への環境教育にも取り組んでいます。この「マツザキの森」をベースにして、2030年までに廃棄物ゼロを達成することに取り組んでいます。

所在地 埼玉県川越市中福547番地
電話 049-243-4022
<https://www.1887.co.jp/>
代表者 代表取締役 松崎 裕大

創業 1887年（明治20年）
資本金 1,000万円
従業員 24人



担当者より

ジンというお酒がもともと好きで、ブレンダーとしても香りの可能性を楽しみながら作っています。特色のあるジン作りを通じて、地域を盛り上げていけたらと考えています。



できます！

規格外品や製造・加工過程にて生じている端材など、ジンの新しい香りとして活かせるものがまだまだあると思います。お気軽にご相談ください。

■ Japanese Craft Gin 棘玉-

2019年に立ち上げた武蔵野蒸留所でレシピから作り上げました。香りづけに不可欠なジュニパーベリーをはじめとしたボタニカルも「マツザキの森」で育てています。三つの海外のコンテストで金賞を受賞し、国際的にも評価される逸品です。



■ マツザキの森・畑

廃棄物ゼロを目指し、ボタニカルを浸漬（インフュージョン）した後も捨ててしまわずに、森の中で落ち葉と一緒にすることで微生物やバクテリアの力で栄養ある土に戻しています。この土を活用した畑で採れた野菜は、未来を担う子供たちの給食の材料として提供しています。